

夏秋きゅうり新規栽培者向け【一步先行く作業のポイント 8月】

◎ 過繁茂対策

○ 摘葉

- ・葉が混み合ってくると、農薬が葉にかかりにくく、十分な防除効果が得られなかったり、通風が悪くなって病害虫が発生するなどの弊害が生じます。
- ・摘葉は通風と採光を考え、老化葉や病葉だけでなく混み合っているところも行い、1回の摘葉量は、1株当たり3~5枚までとします。

○ 「感水紙」による薬剤付着状況の確認

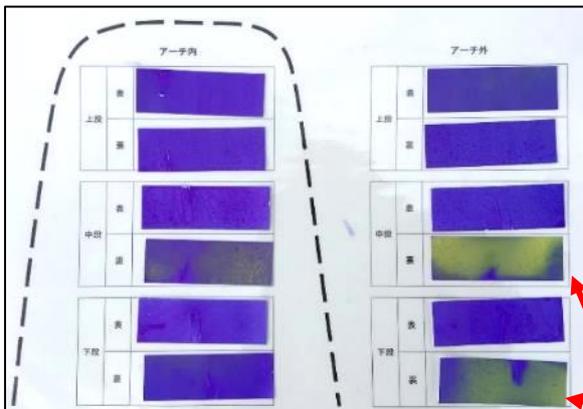
- ① 水分が付着すると色が変わる「感水紙」をきゅうりの上・中・下段の、葉の表面と裏面に貼り付けます。
 - ② 薬剤散布後、感水紙への付着程度を確認します（色が変わっていない部分は付着していない）。
- 露地ほ場では降雨による泥はねで「炭そ病」等の病原菌が広がるため、特に下段の葉裏への防除が重要である。付着状況を確認し、散布方法の改善を図ります。



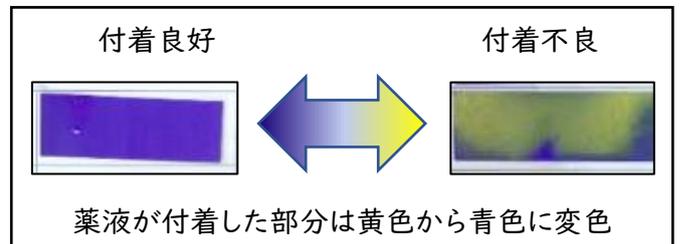
きゅうりへの「感水紙」設置の様子



葉の表と裏にクリップを用いて貼り付け



散布後の付着状況の例



アーチ外側の下段と中段の葉裏への付着が悪いことがわかる